

SFTSは、犬や猫からも感染します



厚生労働省は、今年7月24日、昨年の夏に野良猫に咬まれた50代女性が、SFTSに感染し、死亡していたと発表しました。

SFTSは、ダニ媒介感染症で、動物から人に感染した事例は報告されていませんでした。ところが、今回の厚生労働省の発表で、SFTSに感染した動物から人に感染する可能性があることが分かりました。

犬や猫などのペットであっても、外に出ればマダニに接触する可能性が十分にありまます。もう既にSFTSに感染している犬猫がいても不思議ではありません。SFTSは、私達の身近なペットから感染する可能性もあります。ペットのダニ予防法は、かかりつけの獣医師にご相談ください。



ダニが媒介する感染症

● **重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)**

潜伏期間は、6〜14日。
主症状は、発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴うことがある。
致死率は、10〜30%程度。
特效薬やワクチンなど有効な治療法はなく、症状を緩和する対症療法が中心となる。

● **ダニ媒介脳炎（中央ヨーロッパ脳炎、ロシア春夏脳炎）**

潜伏期間は、7〜14日。
中央ヨーロッパ脳炎は、発熱、筋肉痛などのインフルエンザ様症状が2〜4日間続く。その後、三分の一の患者は、数日経って髄膜炎から痙攣、眩暈、知覚異常などを呈する。致死率は1〜5%、後遺症が35〜60%の患者に残る。
ロシア春夏脳炎は、突然の頭痛、発熱、悪心、羞明が初期症状。極期には精神錯乱、昏睡、痙攣、麻痺などの脳炎症状が出現することがある。致死率は30%と高く、後遺症が30〜40%の患者に残る。
どちらも有効な治療法はなく、症状を緩和する対症療法が中心となる。

● **つつが虫病**

潜伏期間は、5〜14日。
主な症状は、全身倦怠感、食欲不振、頭痛、悪寒、発熱。刺し口近くのリンパ節の腫脹が見られる。体温が徐々に上昇し数日で40℃に達することも。不定型の発疹が、発症3〜4日頃から顔面、体幹に多く出る。重症になると肺炎や脳炎症状を来す。
テトラサイクリン系の抗菌薬による治療が有効。

● **日本紅斑熱**

潜伏期間は、2〜8日。
つつが虫病とほぼ同様の症状を呈し、臨床的な鑑別は困難。
テトラサイクリン系の抗菌薬による治療が有効。

● **ダニ媒介回帰熱**

潜伏期間は、12〜16日。
主な症状は、発熱、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛、全身の倦怠感などの風邪様症状。神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、呼吸不全、出血症状（歯肉出血、紫斑、下血）が現れることがある。
テトラサイクリン系の抗菌薬による治療が有効。

● **ライム病**

潜伏期間は、7〜21日。
主な症状は、刺された部分を中心とした特徴的な遊走性の紅斑。筋肉痛、関節痛、頭痛、発熱、悪寒、倦怠感などのインフルエンザ様症状を伴うことがある。その後、皮膚症状、神経症状、心疾患、眼症状、関節炎、筋肉炎など多彩な症状が現れる。
抗菌薬による治療が有効。

● **クリミア・コンゴ出血熱**

潜伏期間は、2〜9日。
症状は、非特異的。発症は突発的に、発熱、頭痛、筋肉痛、腰痛、関節痛がみられ、重症化すると大小様々な出血がみられる。肝腎不全と消化管出血による死亡例が多い。発症率は20%程度、致死率は60〜85%ととても高い。
有効な治療法はなく、症状を緩和する対症療法が中心となる。

かしま女子的

ちょっと

井戸端会議

看護部東2病棟 内海めぐみ

No.30

「夢」

私には、中学校1年の娘と小学校5年の息子がいます。娘の夢は幼い頃から看護師になる事。その思いはずっと変わらずにいます。（ちなみに絶対にかしま病院の看護師になりたいそうです。笑。息子の夢は、今までいろいろ変わりましたが、最近では薬剤師になりたいと言っています。（こちらもかしま病院で働きたいそうです。ただ、日替わりランチのように変わるのだから掲載される頃にはまた変わっているかもしれません。笑）

私の夢も看護師になる事でした。夢を実現させた事にはなりません。実はギリギリで進路変更をしたのです。それまでは、全く別の進路を考えていました。しかし、自分の夢のために頑張っている友人達を見て、私は本当にこれで良いのか？自分のやりたい事をやらざるこのまま進んでしまつて良いのか？という強い思いで急遽進路を変え担任の先生や親をだいたい困らせた事を覚えています。しかし、あの時あの瞬間にこの道を選択し本

当に良かったと日々感じています。医療の世界はとても厳しいです。しかし、それを忘れる位のやりがいがあります。何よりこの仕事に誇りを持ち、天職だと自分では思っています。

先日、娘の授業参観にて夢を発表する場面がありました。娘の言葉を聞き私は涙してしまいました。「お医者さんをサポートし、お母さんのように患者さんに優しい看護師になるのが私の夢です。」と照れくさそうに話す娘。幼い頃から休日に関係なく仕事・仕事・仕事の日々。「どうしてママは他のお母さんのようにお家にいないの？」と言われた時も何度もありました。「お仕事いかないで!!」と泣いている娘をおいて仕事に向かう時も何度もありました。それでも、看護師になりたいという夢を持ち続けている娘を本当に嬉しく思います。

そんな娘に恥じないようこれからも看護師として頑張りたいと思います。

